



平成 19 年 7 月 13 日

各 位

上場会社名 株式会社 学習 研究 社
 代表者名 取締役社長 遠藤 洋 一 郎
 本店所在地 東京都大田区上池台 4-4 0-5
 コード番号 9 4 7 0
 (情報取扱責任者)

取締役経理部担当 中 森 知

TEL 03-3726-8051

特別損失・特別利益計上による中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 3 月期中間決算において、企業会計基準第 9 号「棚卸資産の評価に関する会計基準」の早期適用により特別損失を計上する見込みであり、また、本日公表の「固定資産の譲渡に関するお知らせ」の通り、平成 20 年 3 月期決算において特別利益を計上する予定のため、その概要をお知らせしますとともに、19 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期の中間及び通期業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 中間連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日) 単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 5 月 18 日発表)	33,000	△ 2,100	△ 2,300	△ 2,500
今回修正予想 (B)	33,000	△ 2,100	△ 2,300	△ 5,860
増減額 (B-A)	0	0	0	△ 3,360
増減率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	- %
前期 (平成 18 年 9 月期) 実績	32,838	△ 2,231	△ 2,481	△ 2,574

2. 平成 20 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 5 月 18 日発表)	81,000	1,400	1,000	700
今回修正予想 (B)	81,000	1,400	1,000	1,240
増減額 (B-A)	0	0	0	540
増減率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	77.1%
前期 (平成 19 年 3 月期) 実績	78,187	△ 200	△ 650	763

3. 平成20年3月期 中間単独業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A） （平成19年5月18日発表）	—	—	—	—
今回修正予想（B）	28,000	△ 1,900	△ 2,000	△ 5,395
増減額（B－A）	—	—	—	—
増減率（%）	— %	— %	— %	— %
前期（平成18年9月期）実績	28,167	△ 2,015	△ 2,199	△ 2,317

4. 平成20年3月期 通期単独業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成19年5月18日発表）	—	—	—	—
今回修正予想（B）	68,200	1,300	1,100	1,505
増減額（B－A）	—	—	—	—
増減率（%）	— %	— %	— %	— %
前期（平成19年3月期）実績	67,601	128	△ 194	852

5. 修正理由

（中間業績・連結決算）

当社グループは、当中間期におきまして【企業会計基準第9号「棚卸資産の評価に関する会計基準」】の早期適用を行ない、経営資源の効率化・最適化、財務の健全性・資産のスリム化を図る予定であり、現状の試算では約3,360百万円の棚卸資産評価損を特別損失として計上する予定であります。

この結果、中間連結(当期)純利益は連結業績予想数値を下回る見込みであります。

（中間業績・単独決算）

当社は、当中間期におきまして【企業会計基準第9号「棚卸資産の評価に関する会計基準」】の早期適用を行ない、経営資源の効率化・最適化、財務の健全性・資産のスリム化を図る予定であり、現状の試算では約3,000百万円の棚卸資産評価損を特別損失として計上する予定であります。また、この棚卸資産評価損の計上等を要因として、関係会社に対する貸倒引当金特別繰入額195百万円を計上する予定であります。

この結果、中間(当期)純利益は業績予想数値を下回る見込みであります。

以上の理由から、中間業績予想について修正いたします。

(通期業績・連結決算単独決算共通)

平成 20 年 3 月 31 日に学研第 3 ビルの土地・建物を譲渡することにより、約 3,900 百万円の固定資産売却益を特別利益として計上する予定です。

この結果、当期純利益は連結業績予想数値を上回る見込みであります。

なお、特別利益の詳細については本日公表の「固定資産の譲渡に関するお知らせ」をご覧ください。

以上の理由から、通期業績予想について修正いたします。

※ 業績の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因の変化により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

6. 特別利益計上のお知らせ

(1)連結決算及び単独決算(通期)

①固定資産売却益 3,900 百万円

当社所有不動産である学研第 3 ビル(土地・建物)の売却により発生するものであります。

なお、当固定資産の譲渡の詳細は、本日公表の「固定資産の譲渡に関するお知らせ」をご覧ください。

7. 特別損失計上のお知らせ

(1)連結決算(中間及び通期)

①棚卸資産評価損 3,360 百万円

企業会計基準第 9 号「棚卸資産の評価に関する会計基準」の早期適用により、棚卸資産評価損として計上するものです。

(2)単独決算(中間及び通期)

①棚卸資産評価損 3,000 百万円

企業会計基準第 9 号「棚卸資産の評価に関する会計基準」の早期適用により、棚卸資産評価損として計上するものです。

②貸倒引当金特別繰入額 195 百万円

棚卸資産評価損の計上により債務超過となる子会社である(株)学研トイズ他、関係会社に対するものです。なお、連結決算上は消去され発生はありません。

以 上